

事務事業名		第71回国民体育大会開催事務				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成26 年度 ～ 平成28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
	施策名	29 生涯スポーツの振興							
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の振興							
根拠法令						予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 06 01 26			
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課							
	課長名	江刺 雄輝							
	係 名	体育振興係	電話	27-3111					
	担当者	野田 学	内線	273					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・平成28年度に岩手県で開催される「第71回国民体育大会(希望郷いわて国体)」において、大船渡市を会場として開催される3競技(公開競技:グラウンド・ゴルフ、デモンストレーションスポーツ:ウォーキング、マラソン)の開催準備を円滑に進める事業を行う。 ・主な業務は、希望郷いわて国体大船渡市実行委員会事務局として総会や各種会議の資料作成、競技会場整備など。 ・事業費は、希望郷いわて国体大船渡市実行委員会運営補助金である。						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	1,351
								地方債	
								その他	3,011
								一般財源	11,926
							事業費計 (A)		16,288
							人件費	正規職員従事人数	2
								延べ業務時間	1,100
								人件費計 (B)	4,400
							トータルコスト(A)+(B)		20,688

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 総会開催(開催通知送付、資料作成、総会運営)、希望郷いわて国体大船渡市実行委員会各専門委員会(総務・企画・広報、競技施設)開催、各競技団体との打合せ 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。	  	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 総会開催</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 専門委員会開催</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 競技団体との打合せ</td> <td>回</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 総会開催	回	イ 専門委員会開催	回	ウ 競技団体との打合せ	回
		名称	単位							
		ア 総会開催	回							
		イ 専門委員会開催	回							
ウ 競技団体との打合せ	回									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市のスポーツ推進事業	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 実行委員会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 専門委員会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 実行委員会委員数	人	キ 専門委員会委員数	人	ク		
名称	単位									
カ 実行委員会委員数	人									
キ 専門委員会委員数	人									
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 課題や問題点が改善され、スポーツ振興事業が効果的に実施される。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 市民体育大会(グラウンド・ゴルフ)参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ ポートサイドマラソン大会参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 大船渡市ファミリーウォーキング参加者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 市民体育大会(グラウンド・ゴルフ)参加者数	人	シ ポートサイドマラソン大会参加者数	人	ス 大船渡市ファミリーウォーキング参加者数	人	
名称	単位									
サ 市民体育大会(グラウンド・ゴルフ)参加者数	人									
シ ポートサイドマラソン大会参加者数	人									
ス 大船渡市ファミリーウォーキング参加者数	人									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。										

(2) 総事業費・指標等の推移											
			年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円							
			都道府県支出金	千 円						1,351	
			地方債	千 円							
			その他	千 円						3,011	
			一般財源	千 円				994	3,238	7,694	
	事業費計（A）		千 円	0	0	0	994	3,238	12,056		
	人件費	正規職員従事人数	人				2	2	2		
		延べ業務時間	時 間				150	350	600		
		人件費計（B）	千 円	0	0	0	600	1,400	2,400		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	1,594	4,638	14,456		
⑤活動指標			ア	回				1	1	2	
			イ	回					2	3	2
			ウ	回					9	13	30
⑥対象指標			カ	人				30	30	29	
			キ	人					25	25	24
			ク								
⑦成果指標			サ	人				142	151	200	
			シ	人					833	852	1200
			ス	人					45	70	300

事務事業ID	1454	事務事業名	第71回国民体育大会開催事務
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
第71回国民体育大会の岩手県での開催について、平成19年9月に財団法人日本体育協会理事会で了承された。それを受け、岩手県では国体担当職員を配置するなど、開催準備を進めてきた。岩手国体開催ということで、当市では正式競技(軟式野球)開催を希望したが実現できず、公開競技(グラウンド・ゴルフ)及びデモンストレーションスポーツ(ウォーキング、マラソン)を開催することとなった。その3競技の開催に向けての準備組織として、教育委員会内に国体推進室を設置するとともに、同室を事務局とする実行委員会を設立して、開催準備を円滑に進めることとなった。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・東日本大震災での被災を受け、開催自体が危ぶまれたが、復興のシンボルとして位置づけるとともに、国体改革の趣旨も踏まえた先例にとらわれない「新しい岩手型国体」として開催することとした。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・公開競技(グラウンド・ゴルフ)開催に関して、地元の市グラウンド・ゴルフ協会から、競技開催誘致を依頼したのは市なのだから、市が主導で開催準備を積極的に行うべき、との意見が出されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	市のスポーツ振興に係る大会開催に向けての準備をするものであり、このことが当市のスポーツ振興事業の効果的な推進に寄与することから、結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	岩手県及び開催地市町村が競技団体等と連携を図りながら、競技開催(準備を含む)する大会であることから、公共関与は妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	当市のスポーツ振興事業の効果的な推進に寄与するために適切な事業である。	
	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	当市のスポーツ振興事業推進を図るべく開催する大会であり、成果の向上が見込まれるものではない。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	岩手県及び開催地市町村が競技団体等と連携を図りながら、大会開催(準備を含む)する大会であることから、事務事業を廃止・休止することはできない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	半世紀に1度程度の開催となる国民体育大会であるため。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、国民体育大会開催に向けての最低限の準備経費(各種旅費、国体開催PR活動経費等を含めた実行委員会への補助金)のみであるため。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	事務は兼務となっている2名の職員で行っており、これ以上の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	受益者負担は伴わない。	

事務事業ID	1454	事務事業名	第71回国民体育大会開催事務
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民の生涯スポーツ活動の振興に寄与している。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 引続き国民体育大会開催に向けての諸準備を進めていく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者 生涯学習課長	江刺 雄輝

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☒ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 市民が復興支援への感謝の気持ちを表現するとともに、スポーツの日常化を図るきっかけとしての意味づけが必要である。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 国体を契機に、市民がスポーツの日常化を促進できるよう、フォロー事業を実施していく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持		○	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
